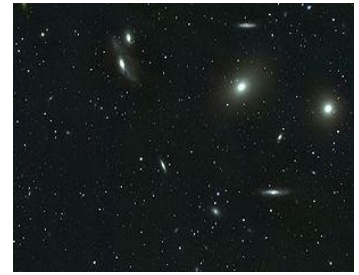


宇宙の楽しいお話 その4～天の川銀河

宇宙物理学者 細谷 暁夫

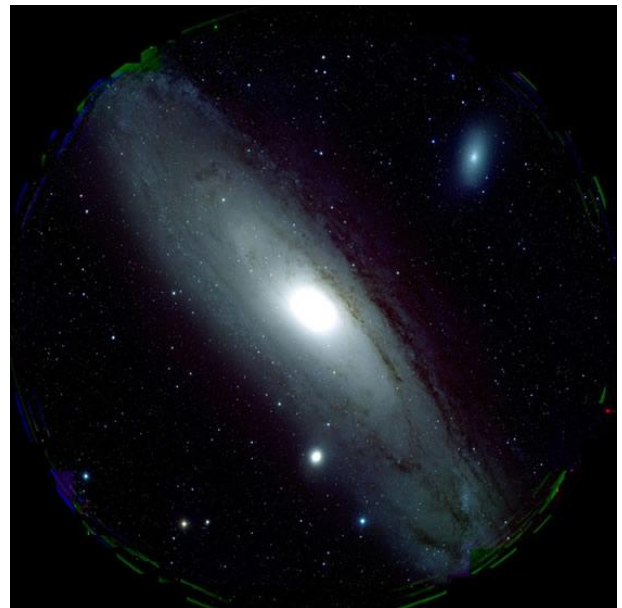
夏に高い山や海岸の空気の澄んだところでは南天に天の川が横たわっています。それは砂を掃いたように見えますが、その砂粒の一つひとつは恒星です。その1,000兆個もの恒星の集まりが、天の川銀河です。私たちの太陽系は、その天の川銀河の割と端の方にあり、中心から26,100光年の距離にあります。地球からみて射手座の方向が銀河の中心です。



おとめ座銀河団

最近の国立天文台の観測によると、私たちの太陽系は秒速240kmで、銀河の中を東から西に回っているそうです。約2億年で1周します。

お隣りの銀河アンドロメダ銀河は天の川銀河から約200万光年はなれています。アンドロメダ銀河は、北の空にWの形をしているカイオペア座の近くのアンドロメダ座の中にあります。目のいい人には、ぼーっとした広がりとして見えるそうです。星座はギリシャ神話に因んだものが多いのですが、アンドロメダ、カシオペア、ケフェウス、ペルセウス、ペガサスはペルセウス伝説に因んだものです。怪物の生け贄にされそうになっていた、エチオピアの王女アンドロメダをペルシャ人の祖先ペルセウスが救うお話しです。



アンドロメダ銀河（すばる望遠鏡）

天の川銀河とアンドロメダ銀河のお隣りさんグループ全体は、5,000万光年のかなたにあるおとめ座銀河団の中心方向に引き寄せられています。それより大きいスケールでは、宇宙は全体として膨張し、遠方の銀河ほど速く後退しています。そして、見える限界が130億光年遠方です。

夏の終わりに、夜空を見上げ壮大な宇宙に思いを馳せては如何でしょうか？

日常のこまごまとしたことを忘れて、我が身を大宇宙にゆだねると、実に楽しく愉快です。